

神奈川県立小田原高等学校 SSH 令和6年度 学校HP用文章

令和6年度SSHにおける東海大学留学生との2年次理系生徒のサイエンスな交流（2回目）

令和7年3月12日（水）に、東海大学留学生と本校2年次理系生徒とのサイエンスな交流が東海大学にて行われました。12月の1回目の交流に引き続き、2年生9名、2グループが英語で課題研究の成果を発表しました。留学生からコメントや質問が多くありましたが、各グループともに難しい質問に対しても聞き返しながら自分たちだけの力で回答する姿が見られました。本校生徒の発表後、留学生1名による研究の紹介を、英語で発表していただきました。大学院生ということもあり、研究内容は高度であり、専門的な科学英語も多かったですため、難しい内容ではありましたが、生徒たちは一所懸命英語を聞き取り、研究内容を理解しようとする様子が見られました。

お互いの課題研究の発表を通しての交流終了後、東海大学の研究施設を見学させていただきました。生物系の研究と、形状記憶素材の研究を見学させていただきました。普段の授業ではなかなか見ることができない、大学の研究室の様子を見ることができ、生徒たちも目を輝かせていました。生物系の研究では、酵母の研究、大腸菌の研究の様子を見学し、大学での研究に胸を膨らませました。形状記憶素材の研究では、実際に実験をさせていただき、元の形にもどる仕組み等を教えていただきました。生徒たちは、自分たちの研究してきた内容を深めるため、東海大学の教授に積極的に質問し、内容の深化をはかる様子も見られました。

課題研究の成果を英語にすることで、英語力の向上やコミュニケーション能力を高めることができました。また、留学生との交流を通して、多種多様な文化や価値観に対する深い学びにも結びついたように思います。今回の経験を通して、さらなる成長を期待します。



